

あす投票日

“大物”の当落を予想する

民主愛国、いま
 たちの当落は、
 御天の鳩山首
 國一の最高点を
 嶺もさうして当
 選率の安樂
 新派の攻撃にあ

だ、党幹部の三
 、雷川一、岸
 三、松村謙三
 三、田村均）
 三の諸氏はい
 運動が、星

振

をたぎめく民
をつてあうが
つわねえ、
確、ただ實相
交相は自由党
のやや活戦の

[illegible]

陽の自由党では、石井光次郎、大野伴恒、総務、水田三喜男（政、）氏の党首職、高橋達也、吉田前、高橋の失態に立っ、山田三郎、山口三郎、平島三郎、

(東京一區)も

木更津ともトツパ
員長ともトツパ

古蹟もこんどは
磨天(元厚相、
山崎巖(元内相)

最高

同 鈴不正文)
塚九一郎(元建

茨城二区)増田
照之の舌敵、山
今(元国会対策
会)の元衆

岩本徳行(元衆
議院議員)

山岡組

大分一區 氏ら
 苦しいようだ
 元陽村 山梨
 元陽村 静岡一區
 徳弥(元姫村)
 甲子七(元姫設
 阿比(元通精村
 藤岡三(長)の三
 小金
 上位当選は種実
 茂泊石村書記

さて起て、今時手ごたえが通うところが感ぜられる。それは、開でも割ぜられなめに聞くや乱闘の代仙なの命威治のままのきだ。

案に地方民に接
 には、今までと、
 政界春秋
 高仙は極性をば
 進歩のためには
 無意味では
 労働党の暴

田村 局長係科科
 ななかつ あれ
 してみ ひづく
 民の恥を こんたな
 負わねば したいてい
 私ほ地獄 地獄
 出たの 出たの
 先着 先着
 ゆるが ゆるが
 越え 越え
 城本 城本
 くる、私

方應城の新聞に再三か
 者を出した。天に向つて
 となつた。

援現帥

で、選
命令で
青年と
憤激し
に起し
聞いて
やっぱ
文化原
おたす
も思っ
明日
月曜任

岡山県
責任を
による
した。
し、流
のだと
とある
郷土人
にもあ
る。

私は、純土新聞に、
 だが、東京を立つ
 情勢はまったく
 木室多年の命
 報告

それは「よし
発動にう」と
さかんが、今
であるてきた
んだ。年の千
だ地に干のこ

木村

前にも、人ばかりに伏せ
た情状語た。
一変候補な
相は指

民主党

の後任と一華

[illegible]

といふ
 のない
 元祿
 共に、
 政治的に批
 なければ
 人だ。
 てやろ
 案はした
 に進歩し
 明治廿五
 吉來も若

ウエールは
の永い経験
と植物性の
原料を主材
りますから

女自來也

折柄、微かに聞
音は、宝塚劇場

三三三

女自來也

三十五年
と動物性
優秀船舶
として居
絶対です

（八）

二二

三十五年
と動物性
優秀船舶
として居
絶対です

の由

栗林

で左に折れるのを
踏を堪えて、地
路が、くき
オンの、黒

JEWEL
WAX SHOE
POLISH

正幸 浩 (93)

130円 **4月特大号** 華仕価

誰がを蘭
於青春
柔肌
青春
香本盛
胡蝶御
大を究


[illegible]

海の活簍
浪人繪師
柳生宗矩
黒田節
都伸夫
正史
風太郎

香澤海潮 山
滋音五 斬
田雅大 地獄
宮下 悪
道中 幻一郎

たり毎行状記
八宗三郎
から来た女
魔風
◇マンガカ
落語
白瀬

元三純周



競争率・戦後最低

日共辭退
續出で
立候補総数千廿一名

| | | |
|---|--|------------------|
| の青良 八名に計 六日、統ひ てゐる 廿七日の 其日の朝 廿七名の 五と二つ を以て親 | 立候補者数は正則に廿一名 な同日内中に候補者皆退し英 國選舉率は二・一九倍となり、前 選候補者増が三つのとおり △山形二 竹内松三三重二 △早川精三△三重二 太田 △大島時芳 △吉岡洋一和泉 彦 | 山区 落合果 ▽高山 |
|---|--|------------------|

○のほかに三と女風・な鳥